

安田孝子編

異本
唐物語

古典文庫

平成五年七月二十日印刷発行

非売品

異本唐物語

編者 安田孝子

発行者 吉田幸一

印刷者 白橋印刷所

製本所 共伸舎

発行所

114

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話(三九一〇)二七一七
振替口座東京九・一四五九七番

安田孝子編

異本
唐
物語

古典
文庫

むしも獻じ候はるる所ももみあり世帯れ
もいひおほきまされすてき春のふれ枝の
月おつとまもてたはるる月ももみあり
とにあられてもいあり柔向人なりきれとれ
くのちあゆむさはり絶てられ月のひかりは
すたしとるひかりがまいてなぐさあつとくや
えも森しとちあねにをうつつとみまうをて
まといんさうとらねりもその程もろくに
てあもあ柔月もかきまぬとをいひしは
かみんもいひしとて門前ももみあり

けをいふふへありなれど

りやまきり月みかたをみりて

かきし人みあふへまのい

こふりしてはみにかへぬしつゝみりて

きれあておろすしつゝみりて

こふりておろすしつゝみりて

きんけり

ひし元和十三年の秋にみりて

ては別とみりてみりて

秋にみりてみりて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て人なりきりてくちめきりてくち

いあ(いあ)くちくちくちくち

いあ(いあ)くちくちくちくち

このくちのくちくちのくちくちくちくち
くちくちくちくちくちくちくちくち
くち

昔がくちくちくちくちくちくちくち
くちくちくちくちくちくちくちくち
くちくちくちくちくちくちくちくち
くちくちくちくちくちくちくちくち
くちくちくちくちくちくちくちくち

しるしをたてておぼしめす。このしるしは、
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。
おぼしめす。このしるしは、おぼしめす。

(四才)

ちよはらひのつゝまぢりもれ大車馬
あゝいふはらひのつゝまぢりもれ大車馬
ふふふふふふふふふふふふふふふ
てにふふふふふふふふふふふふふ
いふふふふふふふふふふふふふ
あゝいふはらひのつゝまぢりもれ大車馬

あゝいふはらひのつゝまぢりもれ大車馬
あゝいふはらひのつゝまぢりもれ大車馬

あゝいふはらひのつゝまぢりもれ大車馬
あゝいふはらひのつゝまぢりもれ大車馬

(五ウ)

にわかれしはいつまでも思ふ人なりけり
城下はいつても思ふ人なりけり
わかれしはいつても思ふ人なりけり
もあつても思ふ人なりけり
かきつても思ふ人なりけり
おきつても思ふ人なりけり
あつても思ふ人なりけり
人なりけり
事なりけり
事なりけり

(七オ)